



るつ記記念基金だより

ご支援を感謝します！

2017年度奨学生ジェラ(中等教育学専攻) から卒業感謝メッセージをいただきました。COVID-19のためにフィリピン全土に厳しい規制がひかれる中、困難を乗り越えて旅立つことができました。



2021年7月31日

私の親愛なるスポンサーの皆さま

私の学びに対する皆さまのたゆまぬ尊いご支援にこころから感謝いたします。皆さまは、大学教育を受けるという私の夢を現実のものにしてくださいました。

支援を受けた子どもとしての経験や思い出は私にとって大切な宝物であり、決して忘れることはありません。私が身につけることができた子どもの権利についての知識によって、私は信頼できる権利にとっても敏感な人間になり、そしてそれは日常生活にも非常に役立っています。

卒業後、私は教師資格試験を受け、希望が叶い正式に教師になることを望んでいます。そうすれば私は教職に応募することができ、両親や家族の経済を助けることもできます。

皆さまはいつも私の心の中におられます。そして私の人生のかけがえのない存在です。

さようなら……、私の愛するスポンサーの皆さま。神さまの祝福がありますように。

ご支援いただいた皆さまのチャイルド
ジェラ

注記：5頁に関連記事があります。

ご挨拶

日本キリスト教団日立教会 牧師 島田信子

2011年8月
フィリピン・パナイ島
イロイロ市 大聖堂前
島田進牧師
島田信子牧師



昨年新型コロナウイルス感染症が確認されて、世界中に拡大し、感染者が増加し医療崩壊などがおこり、大切な命を落とす方もあり、苦しみや孤立感が深まった一年でした。その様な中で、皆さまに、変わらぬ愛の心で「るつ記記念基金」に熱きお祈りと、尊いご支援を賜り、心から感謝申し上げます。日本ではワクチン接種が進み社会も変わろうとしています。フィリピンでは都市封鎖が行われて外出制限や、大学の授業もオンラインで行われたり、中止になったりしていると聞いております。学生たちの生活も貧困と困窮に置かれていますが、奨学生たちは何とか勉学に励もうと頑張っております。

このコロナ禍の中で、4人の卒業生を送り出せたことは、心からの喜びであり感謝であります。また今年度は3人の新入生を迎えることができました。若い人から学びの場が奪われないように、皆で祈りを合わせていきたいと思っております。

18年間、皆さまと共に「るつ記記念基金」に携わってきた日立教会の島田進牧師が、7月22日に天に召されました。彼は、るつ記さんの志である、アジアの貧しい人々のために働きたいという夢に感動して、その夢を実現しようと「るつ記記念基金」の働きに加わりました。溺れかけた二人のフィリピンの友人を救うために、24歳の命を捧げた彼女の遺志を引き継ぎ、何度もフィリピンを訪問して、奨学生と交流を持ち、大学やセンターを訪問いたしました。その時に「彼ら(奨学生)の目は美しい、希望に輝いている、どんな宝石よりもきれいだ。一生懸命に勉学に励んで、社会の役に立ちたい、貧しい人を助けたいという愛の光で満ち溢れている。」と感激していました。いつも奨学生の一人一人の名前を呼びながら、お祈りしていました。フィリピンを愛し、奨学生を我が子のように愛し、「るつ記記念基金」のことを誇りに思っていた牧師でした。これからも天国から見守っているのではないかと思います。日立教会はこれからも、この基金の活動を喜んで支援していきたいと思っております。

いつも、チャイルド・ファン・ジャパンの武田勝彦事務局長と職員の皆さま、また日本聖書神学校・神保望校長、柳下明子教授、皆さまにはあたたかい御教示・ご支援を賜り感謝いたします。「るつ記記念基金」の奨学金と運動の輪が広がり、浸透することによって、フィリピンをはじめ、世界中にキリストの愛が広がり、平和の絆で固く結ばれていくことを願い祈ります。

追悼 島田進牧師

島田進牧師は、永らく悪性リンパ腫の治療を受けておられましたが、2021年7月22日(木)にご家族に看取られながら召天されました。72歳2ヶ月のご生涯でした。島田進牧師はRFMF活動の中心にいつもいてくださいました。寄せられました追悼のメッセージやこれまでの活動の一部をご紹介します。

●シリマン大学・神学部学部長 ジーンズ H. ファーリア

進牧師のご逝去の報に接し驚いています。日立教会での彼のリーダーシップを通して、皆さまと私たちのパートナーシップは可能になり、強力であります。私の切なる祈りは、彼のご家族と愛する人たちが神の慰めの豊かさにあずかれることです。そして周りの人々の愛と思いやりに包まれますように。

どうぞ、私たちの心からのお悔やみ、共感を彼らにお伝えください。私たちは祈りの中に皆さまのことを覚え続けます。

心込めて。

2013年8月／ネグロス島シリマン大学神学部



教会ワーカー協議会へのご招待をいただき渡航。奨学生たちと交流し協議会最終日には支援に対する感謝状をいただきました。

● NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパン

松浦宏二次長

島田先生のあまりに急な訃報に接し、信子先生はじめ日立教会の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。

退任される前には、一度お会いしてご挨拶できるのではないかと期待を持っておりましたので、あの穏やかな笑顔でお話されるお顔を拝見できなくなってしまったことは、返す返すも残念でなりません。フィリピン訪問の時のこと、教会でお会いした時のことなど、思い出されることが多々あり、この訃報をどう受け止めてよいのか、よくわからない気持ちです。

るつ記記念基金のことでは、いつも快活に笑顔で、希望を持ってお話しされていた様子が目に浮かびます。島田先生の思いが果たされていくように、今後も微力ながらお手伝いさせていただければと思っております。島田先生の御霊が、どうぞ天国で安らかに憩われますようにお祈りいたします。

【同法人企画「フィリピン訪問の旅」団長として】

2004年11月／マニラ



教会員5名が6日間フィリピン各地を訪問し、マニラでは元及び現奨学生7名と交流。現在、彼らは教師や弁護士、福祉など社会の最前線で活躍しています。

2011年8月／ジェネラルサントス市



教会員9名が6日間フィリピン各地を訪れ、ミンダナオ島の同市では地域活動センターを訪問。そしてイスラム貧困地区では皆さまのダンスの輪に参加。(左端に島田進牧師)

2021年度新奨学生

フィリピンでも最も貧しく紛争などで不安定な状況にあるミンダナオ島から、シリマン大学神学生3名が与えられました。

①アビゲイル（神学）



ミンダナオ島出身。一家とともに子供の頃から地域の教会に通う。その中で、教会の若者グループのリーダーとなり、多くの若者を指導する活動に従事してきた。その中で、若者の教育する立場が自分にとっての天職ではないかと考え始めた。同時に、自分の妹弟を学校に通わせるために両親を助けたいという思いもあった。そのために初等教育学を専攻し大学を卒業後働き先を探していたが、なかなか教職を見つけることができなかった。この時に、自分にとっては牧師となり仕えることが、「これが道、これを歩め」と召命されていることに気づいた。

②ジェフリー（神学）



ミンダナオ島出身。熱心なクリスチャンの両親のもとで育つ。子供の頃は内気であったが、両親の熱心な励ましによって、次第に積極的に教会活動に参加するようになった。セブ島で働き始め、親戚と共に生活をはじめ、また結婚をした。二人で教会活動を支援してきた。しかし職を失いミンダナオ島で働き始めた。その間も聖書の勉強を続け、神学校に進むことを考え始めるが、肉親の反対もあり悩んでいたが、妻は支えてくれた。また教会牧師の励ましと教会からの経済的な支えの申し出があった。

③ジェリー（神学）



ミンダナオ島出身。両親に連れられて教会に通うようになった。祖母や父親が病気になり苦しい闘病生活を送っている傍で子供の時期を過ごし、人の生死や苦しみについて深く考えるようになった。父親の健康は幸い回復したが、この時期は自分にとって大きな意味を持った。高校を終える時点で、神学を学ぼうと決めていたが、家族の反対もあり、大学では別の道を進み、卒業後は働きながら、教会のために働いている人々を助けていこうと考えていた。しかし、ほどなく職を失うことになり、考えた末に、神学校に進む道を選ぶことに招かれていることに気づいた。

奨学生から

(1) メッセージ

奨学生たちとのメール交換などのたびに、奮闘する学生たちの生き生きとした様子に触れることができ、励ますつもりで励まされるという貴重な体験にあずかります。厳しいCOVID-19感染症の中でいただいた4名からの心温まるメッセージをご紹介します

ジャフエ



2017年度奨学生。今年シリマン大学神学部を卒業し宣教の現場へと旅立たれました。パンデミックのために困窮を極める人々の集う地域、教会へと遣わされます。

親愛なる日立教会の皆さまへ

私たちの主イエス・キリストのお名前によってご挨拶いたします！

私の神学の訓練への皆さまのご支援に感謝しこのお手紙を書いています。とうとう、私は今、神学校を卒業いたしました。私は皆さまが送ってくださった経済的なご支援に十分に感謝しきることはできませんが、神様の守りと健やかでありますようにとの祈りが皆さまと共にありますように。

私が神学校を出るときには、いかに神様がこの成就のための道具として人々を用いることで、私にとってもよくしてくださった日々を覚えつつけることでしょう。

私は、皆さまが召命を受けた方々へのご支援を続けられることを希望しています。

私は、宣教において謙虚でひたむきであるようにと気付かせてくださった皆さまのことを、祈りの中で絶えず覚え続けることでしょう。

祈りの度に、あなた方のことを思い起こし、絶えず感謝しています。

(エフェソの信徒への手紙・1章16節)

心込めて

ジャフエ

2021年6月

(訳：岡部綾乃)

ダイアナ



2019年度奨学生で経営管理学専攻。将来の夢、ビジネスウーマンとなることを目指してチャレンジしている。父親は車職工、母親は組立工として働いている。

るつ記記念基金の皆さまへ

支援者の皆さまこんにちは。私は今、皆さまがお元気で健康でいらっしゃることを願っています。皆さまが私の誕生日を覚えてくださっていてうれしいです。そして、皆さまが私に下さった誕生日のお祝いとバースデイカードに感謝いたします。私はとても特別な誕生日を家族や友達と一緒に、笑いと思い出いっぱいでお祝いしました。私はコロナのパンデミックの中でも、皆さまに私の安全と健康を祈られていてうれしいです。それに加えて、私の学びをサポートして下さる皆さまの存在にいつも感謝しています。そしてそのために、私はコロナのリスクにもかかわらず、忍耐強く私の夢を追い求め、熱心に勉強し続けます。

皆さまのご安全とご健康をいつもお祈りしています。予防策を講じたこの新しい日常での生活をお楽しみください。

そよ風にも、私たちはクリスマスの雰囲気を感じます。これによって、私は皆さま方全員にクリスマスと新年のご挨拶をしたいです。皆さまがクリスマスの休暇をご家族とお祝いされることを願っています。そして来年も、健康な生活をお送りください。安全で健康でいられますように。

皆様の奨学生 ダイアナ

2020年11月

(訳：黒梅美羽)

ミカ



2019年度奨学生で医療工学を専攻している。父親は漁師で収入は少なく不安定。母親は美容の技能があり近所の人々を顧客として不定期に仕事をしている。

ご支援くださる皆さま、こんにちは。
いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

私の誕生日のために、素晴らしいお祝いのお手紙をありがとうございました。とっても嬉しく、感謝しております。家族だけで祝う誕生日は初めてです。その意味でも今年の誕生日は思い出に残るに違いありません。いつもなら、たくさんの友達や親戚のみんなとも一緒にお祝いするのですから。

コロナウイルスの感染防止のため、政府が決めた基準やルールに従う必要がありますし、特に今は、感染が拡大し続けているのでなおさらです。この世界規模の感染症のため、私自身も家族もですが、多くの人々が恐れや不安を感じています。

そんな中で、私には、いくつか気づいたことがあります。家族との日々のあれこれがどんなに心に留める必要のある大切なことなのか、ささいに思えた全てのことがいかにありがたいことなのかと、感謝できるようになったということです。またこの時は自分を振り返り、反省し、過ちを正す絶好の機会であるということにも気づかされました。

世界に、癒しが与えられるようにとお祈りしています。

重ねてお礼申し上げますとともに、皆さまがいつも守られますように、主の祝福をお祈り申し上げます！

ご支援に感謝しつつ。

ミカ

2020年5月

(訳：百瀬孝子)

ジェラ



2017年度奨学生で中等教育学を専攻し音楽の先生を志している。父親は牧師だが、生計はオートバイのドライバーを不定期にして立てている。母親はコピー屋で働いている。

親愛なるるつ記記念基金の皆さまへ
なんと喜ばしい日でありましょう。

主に感謝すべき素晴らしい主の御恵みです。私は、皆さまが送ってくださった手紙に心を動かされ、感謝の気持ちで満ち満ちています。このような受難の折にも、絶えず祈り、私の心を明るく照らし、祝ってくださった皆さまの言葉に感謝申し上げます。私たちは、この未曾有の事態の要因を知りうる事が出来ません。しかし、神の「神は決してあなたを見捨てない」という約束によって、私たちは確かに見捨てられていないのです。

私たち学生の今学期は「新たな挑戦」とでも言うべき特別なクラスでの最初の機会となります。最初の調整期間であるこの一週間、私には、短期間の内に行わなければならない活動や課題が山積しており、悪戦苦闘しています。また、インターネットを使用する学生が大多数なので、インターネットに接続することも難しく、日々奮闘しております。しかし、主なる神は、素晴らしく偉大にして力強いのです。そのため、私は、フィリピンの人が皆言うように、「神が私を強め、私は全てを成し遂げることができる」と信じています。

私の誕生日は、教会や自宅で家族と共に祝いました。僅かな食事を分けあい、主に向かって祈りを捧げました。

支援をしてくださった皆さまは、常に私の心の拠り所であり、神の息吹に満たされて今日も素晴らしい一日を送ることが出来ます。

重ねて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

皆さまの奨学生

ジェラ

2020年12月

(訳：鈴木大智)

(2)新奨学生

ご支援を感謝します。全員がミンダナオ島出身で、子供のころから家族そろっての教会生活や活発な奉仕活動をしてきたことが共通します。大学卒業後いったん社会に出ましたが、それぞれの体験を経て神学校入学へと導かれました。(3頁参照)

アビゲイル



ジェフリー



ジェリー



(3)クリスマスカード

2020年度にも多くの奨学生からハンドメイドのカラフルなカードをいただきました



カイル



レズ



ダイアナ



アイリッシュ



ジェイヴィ



ジェラ



ミカ



ジュニロン



リチェル



アイバン

奨学生の現状（心こめて皆さんを応援します）

フィリピンのコロナ感染状況は依然として深刻で、奨学生たちは不規則、不透明な状況の下で日々苦闘しつつも学び続けるよう努力しています。現在、大学の学期は例年通りに進まない異常事態ですが、最終的に計画通り4名が卒業し3名の新人を採用することができ感謝しています。今年度支援を継続する奨学生は以下の12名で、新人を含めて計15名へ奨学金150万円を贈呈しました。どうぞ、貧しさに加えてパンデミック禍にある彼ら、彼女たちのためにお祈りください。なお、1984年以来累計で140名を支援し奨学金を3024万円贈呈してきました。



採用年度

名前(専攻)

島別奨学生分布

() : 2021年10月までの累計人員、合計140人。



2018年度



ジェイヴィ (医療工学)



アイリッシュ (経営管理学)



リachel (教育学)



ジョエウィン (神学)

2019年度



ダイアナ (医療工学)



ジュニロン (電気工学)



カイル (農学)



レズ (犯罪学)



アイバン (土木工学)



ミカ (経営管理学)



ヘセド (神学)



ヨナ (神学)

◎お陰様で卒業いたしました。 ⇒ 2017年度奨学生のジェラ(中等教育学)とシリマン大学神学部のジャフェ、アルリ、ガニバの3名、計4名が卒業しました。

インフォメーション

茨城キリスト教学園 中学校・高等学校の礼拝でご報告

2002年から18年間、毎年11月に開催される学園の中学校文化祭で基金活動の展示紹介をさせていただいていましたが、2020年はCOVID-19のため学園祭が中止となりました。しかし学園のご配慮で、10月の中学生と高校生礼拝で、合計4回、約800名の皆さまに「夢を持つことの大切さ、一步を踏み出すことの大切さ」の趣旨で和田委員長から基金活動の紹介をさせていただきました。



基金37年の歴史と現状、卒業した青年たちが社会の中で生き生きと活躍する様子を熱心に聞いてくださいました。

【COVID-19情報】

フィリピンの2021年10月15日現在迄の感染者は269万人、死者は4万人でした。(注1) 昨年3月以来、各地では軍隊や警察を動員して厳しい外出制限や都市封鎖(ロックダウン)の中で学校関係は休校やオンライン授業が続きました。今年9月にはデルタ株の蔓延により事態は新たな危機的局面を迎えましたが現在は脱しつつあります。ワクチンの2回目接種完了率は21%(注2)と低水準で心配です。危機の時代に貧困層が命に係わる困窮を極めることになるという、この世界の基本的な構造が見えます。「貧困の緩和」、その働きの大切さを改めて覚えさせられます。

(注1) 全世界感染者2億3917万人、死者487万人。
日本感染者167万、死者1万8千人。
(注2) 中国製シノバック、日本は66%。

*委員会から：☆COVID-19の流行が続いています。フィリピンでも夏頃に感染のピークがあり、まだ感染者数が高い水準にあります。大学はオンライン授業が継続されています。経済的な負担に加えて、無線インターネットにつながるために一苦労があるようです。出口が見えにくい状況ですが、それぞれの目標に向かって勉強に励んでいる様子が伝わってきました。(書記：青野友祐)
☆インターネット上ですが、シリマン大学神学部100周年記念集会に参加(?)しました。創設からの歩みとともに、学んだ方々の信仰と献身ぶりに触れることが出来て感銘を受けました。また、こちらもインターネット経由ですが、チャイルド・ファンド・ジャパンの紹介でミンダナオのノートルダム・ダディアンガス大学との打ち合わせも開始しました。この大学とも「るつ記記念基金」を通して恵まれた関係になるように祈っています。(ICT担当：金丸春春)
☆今年度も皆様の変わらぬ暖かいご支援をたまわり、コロナ禍の中で勉学に励んでいらっしゃる奨学生の方々に奨学金をお送りすることができ、本当に感謝です。今後も暖かいご支援を宜しくお願いいたします。(会計：菅原卓子)
☆島田進牧師が召天されて、今、先生がくださった色々なことを思うと、寂しい限りです。①礼拝の時は信徒を教会入り口で出迎えしてくださったこと、②教会の花壇、芝生、駐車場をよく手入れされたこと、③果樹園、温泉、食事に

祝 シリマン大学神学部創設100周年 太平洋戦争、戒厳令の時代を超えて

シリマン大学神学部は1921年にシリマン聖書学校として開校し、その後、国内の紛争や日本の軍隊による過酷な植民地支配、民主化運動などの時代を経て現在の神学部へと発展し、100周年を迎えました。神学部では貧しい人々に仕えるプロテスタント教会の牧師を育成するとともに聖書論の枠組みに基づき、正義に基づく平和と平和教育の基礎、紛争の解決に向けた紛争管理、平和構築に関するパートナーコミュニティの訓練をも提供しています。

日立教会では日本聖書神学校のご紹介で2006年から神学生を累計18名支援し、内12名はすでに各教会で活躍しています。2021年8月に予定されていた神学部100周年記念集会はCOVID-19感染症のためにオンラインで行われ、日立教会からは大内田春子さんが制作された押し花絵(ユーフォルビアの森で-青い鳥-)にメッセージ(和文、英文)を加えてメールでお贈りしお祝いさせていただきました。



【作者解説】

この「押し花絵」の素材はすべて自然の植物を乾燥させた押し花です。サイネリア(青い鳥)、ユーフォルビア(森)、ミニシクラメンなど身近な草花を使用し、絵全体を真空密封してあるので長く変色しません。(サイズ：縦40cm×横31cm)

教会車で連れて行ってくれたこと、④RFMFの活動をしっかり支えてくださったこと、⑤主日礼拝後の愛餐会やバザーを楽しまれたこと、⑥讃美歌288番「恵みにかがやき」を賛美され、人を大事にされたこと。感謝多々です。(百瀬義広)
☆「いい人生だったな」と、進牧師が信子牧師に言われたそうです。信子牧師の「ご挨拶」にあるような、人々を愛した日々、人生の時間の過ごし方からのお言葉なんだろうね。厳しい時期だからこそ思いを新たに活動していこうと促されます。(委員長：和田 直)

るつ記記念基金だより 第37号

2021年11月14日発行

編集：るつ記記念基金委員会
発行：日本キリスト教団日立教会

〒317-0064 茨城県日立市神峰町4-14-7
TEL 0294-21-4565 FAX 0294-23-3367
URL <http://hitachi-church.justhpbs.jp>
郵便振替 口座番号/00300-9-15365
日本キリスト教団日立教会るつ記記念基金